|  |
| --- |
| ここに示している様式は一例であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられます。目標に照らして観点別評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしも例示の通りである必要はありません。 |

第〇学年美術科　学習指導案

【美術科学習指導案様式】　　題材の内容や時間のまとまりを見通して、授業をデザインします。

指導者　　＊＊　＊＊

１　題材名　　　＊＊＊＊＊＊

２　本題材の目標

（１）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

本題材の目標と題材の評価規準は、「**『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料**（以下、「一体化資料」とする）」（国立教育政策研究所）を参考にして作成します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　（知識及び技能）

（２）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（思考力、判断力、表現力等）

（３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　　（学びに向かう力、人間性等）

３　題材の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊。  技＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊。 | 発　発想や構想に関する評価規準を表します。  鑑　鑑賞に関する評価規準を表します。 | 態表　表現における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準。  態鑑　鑑賞における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準。 |

(1)～(3)と項立てしないで、段落ごとに書いてもかまいません。

４　題材について

（１）題材観

関連する学習指導要領の内容（「一体化資料（中学校）」p.51参照）や題材のねらい、他学年の学びとのつながりなどを入れて、題材構想の意図について記述します。

（２）生徒観

本題材につながるこれまでの学び、実態調査や意識調査（できるだけ数値化したもの）から、本題材における生徒の身に付けたい資質・能力などを記述します。

（３）指導観

生徒観に書かれた課題を受け、題材のねらいに迫るための指導上の手立てを記述します（カリキュラム・マネジメントを意識した手立てなども入れていけると、なおよいでしょう）。

５　題材の指導計画（７時間扱い）　**○は指導に生かす評価場面の始まり、◎は記録に残す評価場面**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容・活動 | 知技 | 思 | 態 | 評価及び評価方法等 |
| １ | １ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  主体的・対話的で深い学びに関わる**主な活動**を入れます。**（※１）**  観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく**内容や時間のまとまりごと**に、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、評価する場面を精選することが重要です。  まとめ（結論） | ○ | **○…指導に生かす評価場面の始まり**  題材の評価規準を内容や時間のまとまりに落とし込み、何について見取るのかを具体で表すと共に、学習の改善が必要と判断される生徒への手立てを示します。 | ○ | 知：（記録に残す評価場面◎までに何を理解しているとよいのか）について見取り、理解していない生徒には（理解できる様にするための手立て）を講じる｡  【ワークシート、発言の内容】  態表：（表現で～する態度）を見取り､できていない生徒に(主体的に取り組むための手立て）を行う。  【活動の様子】 |
| ２ | ２  ３ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  まとめと振り返りは、違いを意識して設定しましょう。   |  | | --- | | まとめ | |  | ○  ◎ | 本時には、指導上の留意点を記述します。**（※２）** | 発：（記録に残す評価場面◎までに、この段階ではどのような発想や構想をしているとよいのか）について見取りできていない生徒には（できるようにするための手立て）を講じる｡【ワークシート】  発：【アイデアスケッチ】 |
| ４  ５  ６  本時 | **目標：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**  本時の目標をゴシック体・太字で記述します。  １　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | 問題（課題） |   ２　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  正対します。  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ３　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  矢印の整合性を意識してください。  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ４　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ |   ５　＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | ○  その時間に育成する資質・能力を達成するための問題（課題）を設定します。  ◎  まとめが評価に結びつくようにします。 |  | ◎ | 技：（記録に残す評価場面◎までに、この段階では何が身に付いているとよいのか）について見取り、身に付いていない生徒には（身に付くための手立て）を講じる｡  【作品、活動の様子】  指導上の配慮事項があれば示します。  ・～する。  技：【作品、活動の様子】  態表：【活動の様子】 |
| ３ | ７ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  本時のまとめとともに、題材を通して何を学んだか、生徒が振り返る時間を設けます。   |  | | --- | | まとめ | |  | ○ | ○  ◎ | 鑑：（記録に残す評価場面◎までに、どのような鑑賞をしているとよいのか）について見取り、できていない生徒には（できるようにするための手立て）を講じる｡  【ワークシート、発言の内容】  態鑑：（鑑賞で～する態度）を見取りできていない生徒に(主体的に取り組むための手立て）を行う。  【活動の様子】  態鑑：【ワークシート、活動の様子】 |
|  |  | ＜授業外：題材が終了後＞ | ◎ | ◎ |  | 知・技：【ワークシート、作品】  発・鑑：【作品、ワークシート】 |

**※１**　指導計画は、題材のまとまりを見通し作成します。したがって、学習内容・活動の欄には、その時間の主体的・対話的で深い学びに関わる主な活動を入れます。

**※２**　授業公開等を行う場合は、「本時」について、学習内容・活動を詳しく示したり、評価及び評価方法等の欄に配慮事項を加えたりするとよいでしょう。